

## 川越市グリーンツーリズム拠点施設 リニューアルオープン

施設所長ご挨拶

令和4年11月23日に

リニューアルオープンした「農業ふれあいセンター」が



所長 青野剛士

「川越市グリーンツーリズム拠点施設」として  
始動しました。新たにバーベキュー場、カフェ、  
調理室を整備し、市内・市外の皆様にご利用  
いただける施設となっております。

施設では、「農のある生活」を楽しむ場、農  
業関係者の研修の場、グリーンツーリズムの拠  
点として、農業の振興だけではなく、観光の広  
域化・滞在時間の延長を図ります。

また、農業体験を積極的に行うほか、観光  
農園や直売所、農家の庭先販売所の情報をは  
じめとした、川越の農業、農産物の魅力を収  
集、発信していきます。

バーベキュー場では、川越産農産物の食材の  
提供や農業体験で収穫した野菜をご利用いた  
だけます。また、農業者の皆様に向けた先進  
的な農業に関する研修や新規就農者向け研  
修なども力を入れて行っています。

今後、施設周辺にキャンプ場の整備を進めて  
いく予定です。

ぜひお気軽にお立ち寄りいただき、日常では  
体験できない特別な時間をお過ごしください。  
施設から見える富士山や秩父連峰を眺めな  
がら、心癒して頂ければと思います。特に夕  
暮れ時の山々の稜線は見ごたえがあります。  
ヒーリングトリップ感覚でお越しください。

### バーベキュー場

みんなでワイワイもよし、  
一人で楽しむのもよし。  
広がる景色、鳥のさえずり、川越産の農産物を



味わいながら、  
リフレッシュしま  
せんか？

### 農業体験

芽が出る喜び、収穫する喜び、  
それらを調理する喜び、食べる  
喜び、そんなかけがえのない体  
験は、きっとリピート  
したくなるはず！

### カフェ(glin coffee)

日常にウキウキとワクワクを☆  
普段忙しい皆さまが、ほっと一  
息つける場所をご提供します。



スタッフ一同、皆様のお越しをお待ちしております！

#### アクセス

川越は都心から電車で約30分  
詳細はホームページをご覧ください



←蔵inガルテン川越グリーンツーリズム推進協議会HP  
<https://kawagoe-gt.com/>

川越市グリーンツーリズム拠点施設HP→  
<https://kawagoe-gt.jp/>



### “2月の菜園管理” 講座案内

- 日時：令和5年2月4日(土)13時~15時
- 場所：川越市グリーンツーリズム拠点施設  
(農業ふれあいセンター) 農業研修会議室
- 講師：渡辺一義先生
- 内容：ジャガイモ・サトイモの栽培管理について  
野菜トンネル栽培について/埼玉の伝統野菜について  
埼玉県育成いちご「あまりん」について
- 参加費：無料(当日先着20名)
- 持ち物：筆記用具

市民農園  
利用者  
随時募集中

1月28日(土) PIZZAづくり体験

1月29日(日) 珈琲焙煎体験

うどん作り&ねぎ収穫体験

★12月に実施した「大豆収穫&きなこ作り  
体験」の様子はホームページ掲載中！

体験  
案内

発行者：川越市グリーンツーリズム拠点施設  
住所：川越市大字伊佐沼887  
電話：049-226-6551

皆様のご感想をお聞かせください  
(右のQRコードより)

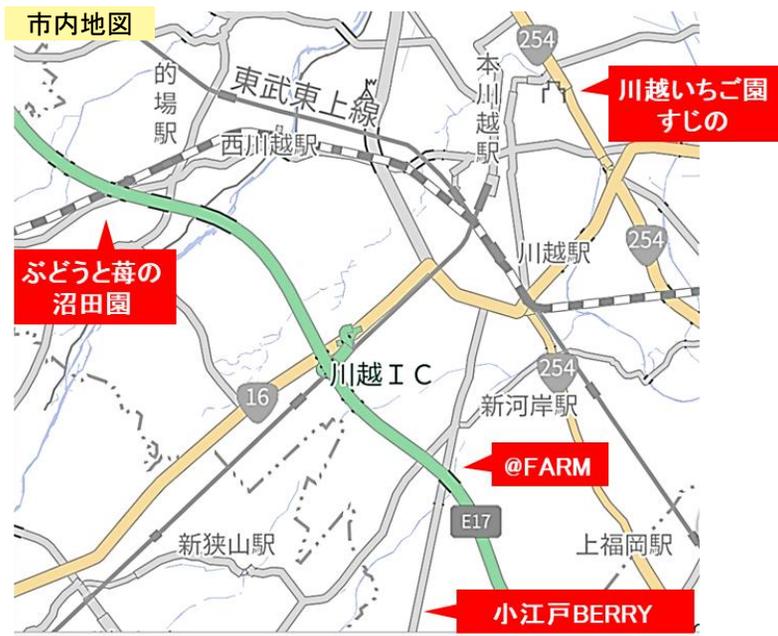


# わくわく川越農業 いちご

市内観光農園  
では12月から  
5月頃まで  
いちご狩りを  
体験できます  
※農園ごとに異なります

川越市内で“いちご狩り”ができる観光農園は4園あります

- 🍓 川越いちご園すじの (松郷城下町680-1)
- 🍓 ぶどうと苺の沼田園 (的場135-2)
- 🍓 @FARM (今福1043-3)
- 🍓 小江戸BERRY (上松原211)



今号では「皆さんの持つ“いちご”のイメージ以上の魅力を提供したい」と話す「川越いちご園すじの」代表の筋野さん(写真)に、話を伺いました。

## ▶超絶おいしい!「かおりん」「あまりん」

いちごの品種はたくさんあり、それぞれに違った魅力があります。中でも、「かおりん」「あまりん」は食味が自慢!埼玉県オリジナル品種で、県内でも限られた直売所・観光農園でしか扱っていません。県外や家庭菜園での栽培もできないのです。

取扱い農園などの情報は  
埼玉県農林部生産振興課HP  
(右QRコード)をご覧ください。



## ▶「川越いちご園すじの」取扱い品種

- ①章姫 ②おいCベリー ③よつぼし ④紅ほっぺ
- ⑤かおりん ⑥あまりん ⑦ベリーポップすず
- ⑧ベリーポップはるひ ※⑥~⑧は直売のみ

## ▶こだわりは「減農薬」

美味しい“いちご”を安心して食べられるように、可能な限り農薬には頼らず、害虫は天敵を使用して防除しています。

## ▶農業との出会い

筋野さんは川越出身ですが、以前は広告代理店や介護関係の仕事をしていました。結婚後、奥様の実家が農家だったこともあり、全く経験のない農業を営む決意をしました。

## ▶いちご農園スタート!

最初から“いちご”を生産していた訳ではなかった筋野さん。「魅力ある作物は何か?」と模索していました。お子様が「いちごを食べたい」と言ったことをきっかけに、埼玉県の新規就農支援で紹介された農園で、一から“いちご作り”を1年間学びました。その農園の最新鋭のシステムに「すごい!」と感動したそうです。平成21年、小さなハウスでいちご生産をスタート。5年ほどやってみて、自信が出てきたところで、平成25年、現在の土地に大きなハウスを設置しました。



高設栽培なので楽な姿勢でいちご狩りができます

## ▶ハウス全壊の危機

ご自身で資金を工面し、始動した大きいハウスでの農園経営でしたが、わずか4か月後、大雪被害により全壊。ハウスは失われたのに返済だけが続く状態に、「もう、やめよう」とも考えました。地域一帯の大雪で、当時は農業ハウス業者の修理が追い付かず、「取り合い」状態…。しかし、設立後わずか4か月で全壊という状況にメーカーの温情もあり、国の補助金を使い、「もう一度だけやってみよう。やりたい!」という強い気持ちで再建しました。

## ▶農園経営の魅力

いちごは「栽培して出荷」の他、加工品のニーズも多く、「作物として可能性の広がりがある。年間を通じていちごの魅力を発信したい」と語っていただきました。



「川越いちご園すじの」は  
観光市街地から徒歩でも  
立ち寄れる場所です  
←詳しくはHPから

川越いちご園すじの  
に本紙を持参すると  
いちご狩り  
1人につき100円引き  
1グループ全員OK  
2023/2/25まで